



三重銀行は融資関係書類の管理システムを本格導入する。6月から試験導入していたが、10月中旬に管理対象の書類を約5倍の2万5千部程度に増やす。従来は手作業だった

書類管理の効率化システム

三重銀行が本格導入

営業人員拡充

た在庫書類の確認をほぼ自動化でき、競合が激化している営業などに人員を重点配置する狙いがある。各金融機関とも膨大な書類管理に手を焼いており、同様の動きが広がりそうだ。

ていたが、1人で1時間ほどで済むようになった

という。効果が大きいとみて本格導入に踏み切る。これに伴い、管理対象を不動産担保関連から住宅ローン関連にも広げる。軌道に乗れば一層の拡充も視野に入れる。

他の金融機関も管理システムの強化に動いている。碧海信用金庫(愛知県安城市)は今春、文書管理センターを新設した。IT(情報技術)の活用で帳簿管理などの厳格化や効率化を図る。

書類の背表紙に専用シールを貼付し、特殊なシステムで読み取る仕組みで、必要な書類を探す際などに使う。これまでの目視による作業では2人がかりで2〜3日かかった

~~~~~

三重銀行が導入する書類の管理システム